

月/日	/ ~	/	/	/		
	入院日(手術前日)	手術当日	帰室後直後	帰室2時間後	術後1日目(退院)	
達成目標	入院から手術までの検査、治療、処置など経過を理解できる 安全な入院生活を送ることができる 安心して手術に臨むことができる		術後の血圧、脈、酸素量が安定する 痛みのコントロールができ、術後2時間後に歩行できる		疼痛がコントロールできる 食事がスムーズに食べられる 発熱などの感染兆候がない 退院後の生活について理解できる	
治療処置 薬剤 リハビリ	今までに内服している薬は、看護師へお渡しください 医師の指示に従って内服します 眠れない時は眠剤をお渡ししますので、お知らせください 	医師の指示に基づき朝の薬を内服します 1例目の方は手の甲に痛み止めのシールを貼ります 1例目以外の方は病棟で点滴をして手術室に向かいます 術前に術着・弾性ストッキングを着用します 術前はショーツ、術後はオムツを着用します	手術後は点滴や尿の管が入った状態で部屋に帰ってきます モニターや酸素マスク等をつけ、全身の状態を観察します 酸素は覚醒状況により終了します 痛み止めの薬を使うことができます	経過を見て、モニターをはずします 痛み止めの薬を使うことができます 	術後1日目(AM8:50)に婦人科外来で診察があります 抗生剤の内服が開始になります 1日3回(朝・昼・夕)1錠ずつ	
検査	手術前に必要な検査が外来で終了していない場合は追加の検査を行うことがあります				検査を行う時はお知らせします 	
活動 安静度	制限はありません		帰室後はベッド上安静です 麻酔から覚めたらベッド上で足を動かしてください		術後初歩行は看護師と一緒に歩きます。その後問題なければ、病棟内は自由です 病院内は自由です	
栄養	夕食までは食事ができます それ以降は食事はできません 		水分は 時まではとることができます 食事、水分はとれません 麻酔から覚めたら、うがいができます		麻酔がしっかり覚めてから、水分がとれるようになります 食事が朝から開始になります その後の制限はありません	
清潔	お臍の掃除をします 必要に応じて除毛も行います その後に入浴してください 爪を切っているか、マニキュアを落としているか確認します 				医師の許可があればシャワー浴が可能です 退院後から入浴が可能です 	
排泄	座薬を入れた後、14:30に婦人科外来で子宮口を拡大するための処置を行います(ダイラソフト)				麻酔がしっかり覚めてから、尿の管を抜く予定です 制限はありません 	
説明 教育 指導	主治医及び麻酔医師、看護師が手術や麻酔について説明します 看護師が生活上のことなどを聞かせて頂きます  手術のために準備する物 ・ナプキン1袋と大きめのショーツ ・薬のみもしくはストロー付きコップ ・ティッシュペーパー   		手術は 時 分 からです  ご家族の方は手術が始まる前には病棟へお越し下さい  一緒に手術室へ参ります 手術が終わるまで待合室で待っていただきます  		ご家族に手術結果を説明します    手術後に痛み・息苦しさ・吐気等がありましたらナースコールを押して下さい  早期回復の為に手術後から体を動かしていきましょう  退院後の生活について説明します  	